

ENERGY

概要版

佐那河内村 地域新エネルギービジョン

平成18年2月
徳島県佐那河内村

SANAGOCHI
清流・交流・定流の村



なぜ新エネルギーなの？

私たちは日常生活や経済活動でたくさんのエネルギー（電気・プロパンガス・ガソリン・軽油・A重油・灯油など）を消費します。そのために以下の3つが大きな問題となっています。

エネルギー資源には限りがあります

●化石燃料●

主要なエネルギー源である石油などの化石燃料は有限であり、このままのペースで使い続けると枯渇が予測されます。

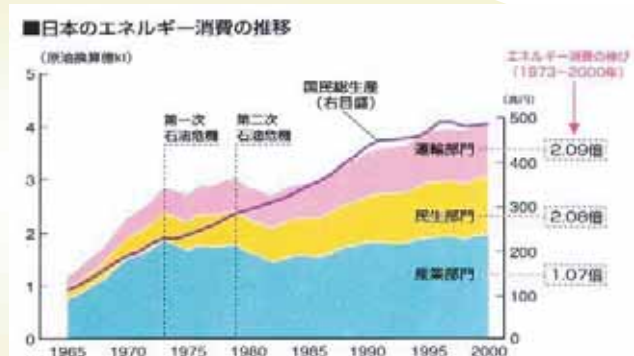
●世界の化石燃料の残存埋蔵量



エネルギー消費量は増え続けています

●日本のエネルギー●

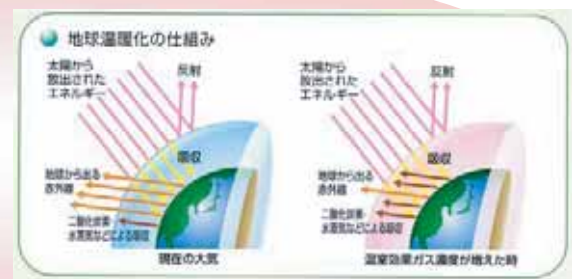
日本のエネルギー消費量は毎年増加しています。しかも、そのエネルギーの約8割を海外からの輸入に依存しています。



地球は暖かくなっています

●地球温暖化●

私たちが便利で豊かな生活をするために大量の化石燃料を使い続けると、大気中に二酸化炭素などの温室効果ガスがますます増加します。その結果、地球の気温が上昇します。



これらの大きな問題を解決する方法として、「新エネルギーの導入」と「省エネルギー対策の推進」があります。新エネルギーは、無尽蔵で枯渇の心配がなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を増やしません。石油や石炭などの化石燃料に代わるエネルギー源として、新エネルギーは今後の普及が期待されています。



新エネルギーとは？

新エネルギーには、太陽や風力などの自然エネルギー、今まで使われずに捨てていたゴミや木屑などのリサイクルエネルギー、そして、従来のエネルギーを効率よく使う利用形態があります。



新エネルギーのメリット

メリット 1



太陽光や風力などは
どこにでもあるエネルギーなので
海外に頼る必要がありません。

メリット 2



無尽蔵なので、石油のように
いずれはなくなってしまう
心配がありません。

メリット 3



新エネルギーはクリーンなので
地球温暖化の原因となる
二酸化炭素を増やしません。



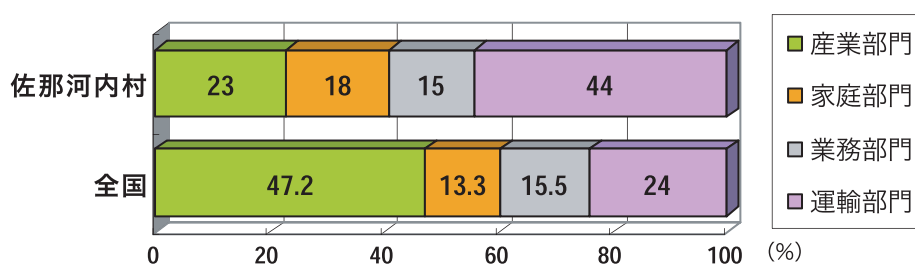
佐那河内村のエネルギー消費量

佐那河内村におけるエネルギー（電気、LPガス、ガソリン、灯油、軽油、A重油）の消費量について調査を行いました。

- 村全体では原油換算で年間 4,572KL（174,657GJ）のエネルギーを消費しています。
- 電力消費量は年間 10,528 千 kWh（37,901GJ）です。そのうちの 41%を家庭で消費しています。
- 石油製品（LPガス・ガソリン・灯油・軽油・A重油）の消費量は 136,756GJ です。自動車の燃料としての消費が半分以上を占めています。
- 平成 2 年と比較すれば、エネルギー消費量は 7%増加しています。

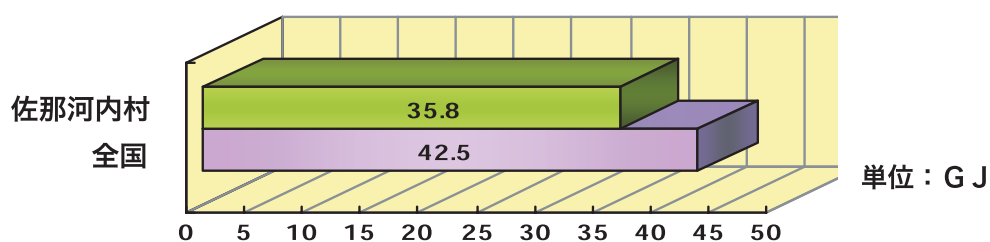
部門別の消費構造

佐那河内村における部門別エネルギー消費量は運輸部門が 44%と最も多く、産業部門、家庭部門、業務部門と続きます。家庭でのエネルギー消費量は 18%を占めます。



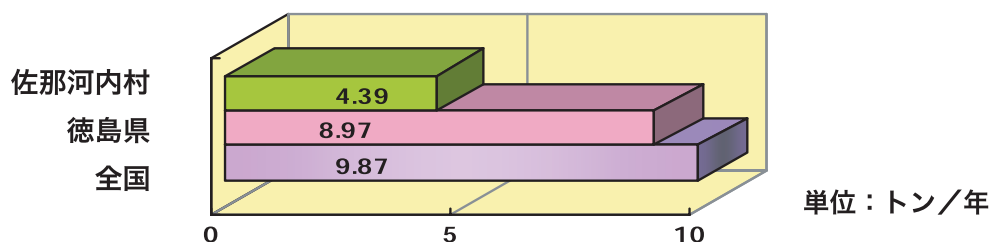
一世帯当たりの消費量

佐那河内村の一世帯当たり年間のエネルギー消費量はドラム缶換算（原油 200 ㍓）で約 4.7 缶分（35.8GJ）です。全国の 85%となっています。



一人当たりの二酸化炭素排出量

佐那河内村の一人当たりの年間二酸化炭素排出量は 4.39 トンです。徳島県・全国の一人当たりの二酸化炭素排出量の半分以下となっています。





導入が期待できる新エネルギー

佐那河内村には太陽光発電や太陽熱温水器・太陽熱ソーラーシステムに利用できる太陽エネルギーが豊富にあります。大川原高原には既に夢風車が建設されていますが、勝浦町、上勝町との境界の稜線に風力エネルギーを利用する大型風車による「ウインドファーム」が計画されています。園瀬川や嵯峨川の小水力エネルギーなどもあり、自然エネルギーに恵まれています。

また、ハイブリッド自動車の性能が向上し、人気を集めています。ハイブリッド自動車は環境にやさしく今後の普及が期待できます。

期待できる新エネルギー

- ◆ 太陽エネルギー
- ◆ 風力エネルギー
- ◆ 小水力エネルギー
- ◆ 木質バイオマスエネルギー
- ◆ クリーンエネルギー自動車



大型風車

風力エネルギーを電気エネルギーに変換して利用します。一般には地上から高さが高くなるほど風は強く吹きます。



太陽光発電

太陽の光エネルギーを直接電気に変えます。屋根などに太陽電池をのせれば、個人住宅で太陽光発電ができます。



太陽熱利用

太陽の熱エネルギーを集めて、60℃の温水を作り、給湯やお風呂に利用します。ソーラーシステムでは温水を循環させて暖房にも利用します。



小水力エネルギー

河川の高低差と水量を利用して、水車で発電します。水力発電は効率のよいクリーンエネルギーです。



木質バイオマスエネルギー

間伐材、剪定枝、竹などを利用します。ペレット化、チップ化などがありますが、薪にして、農業用ハウスの加温用の補助ストーブとして利用します。



ハイブリッド型街路灯

風車と太陽光発電を利用した街路灯です。防犯灯の役目も果たします。



クリーンエネルギー自動車

ハイブリッド自動車はガソリンエンジンと電動モーターを組み合わせて効率良く走行します。





新エネルギー導入プロジェクトの構想

村づくりのスローガンである「清流・交流・定流」をテーマとした新エネルギー導入プロジェクトを構想します。

清流をテーマとした構想

村内にある太陽エネルギー・風力エネルギー・小水力エネルギー・木質バイオマスエネルギーなどの自然エネルギーを中心に新エネルギーを利用するハード事業です。

- ◆ 役場などの公共施設や小中学校に村が率先して太陽光発電システムを導入
- ◆ 農業用ハウスに補助暖房用の薪ストーブや太陽熱ソーラーシステムを導入
- ◆ 村の人々が集まる場所や児童・生徒の通学路にハイブリッド型の街路灯を設置
- ◆ 田畑を荒らす動物から作物を守る電気柵の電源に小水力発電や太陽光発電を利用
- ◆ 村の公用車や家庭の自家用車にハイブリッド自動車を普及促進
- ◆ 民間事業者が大型風車を建設し売電事業を計画



交流をテーマとした構想

新エネルギーや省エネルギーを軸として人づくりを行い、地域の環境を守ります。環境に関心を持つ人々の往来を盛んにする事業です。環境学習の場づくり・人づくりと環境教育プログラムの作成を行う「環境学習プロジェクト」を推進します。



定流をテーマとした構想

村民・事業者・村が協働して、省エネルギー対策に取り組むソフト事業です。村は役場の事務・事業におけるエネルギー使用量の削減を図ります。家庭では電気・プロパンガス・灯油などの使用量を削減し家計の節約に努めます。そして、小学校で「総合的な学習の時間」を利用して児童たちへの環境教育に取り組みます。



重点プロジェクト

「環境学習プロジェクト」と「農業プロジェクト」を重点プロジェクトとしました。

～環境学習プロジェクト～

「いきものふれあいの里」を「いきもの」に関する環境学習の場と位置づけます。村内の豊かな自然を活用し、環境学習の場づくり・人づくりを行うとともに、環境教育プログラムを作成します。佐那河内発信で、「環境首都とくしま」の実現を目指します。



～農業プロジェクト～

ハウス栽培では、重油などの燃料費が生産コストの大半を占めます。石油類が値上がりする中、間伐材などを利用した補助暖房用薪ストーブや太陽熱を利用したソーラーシステムによる温風・温水加温方法を関係者で調査・検討し、導入を目指します。

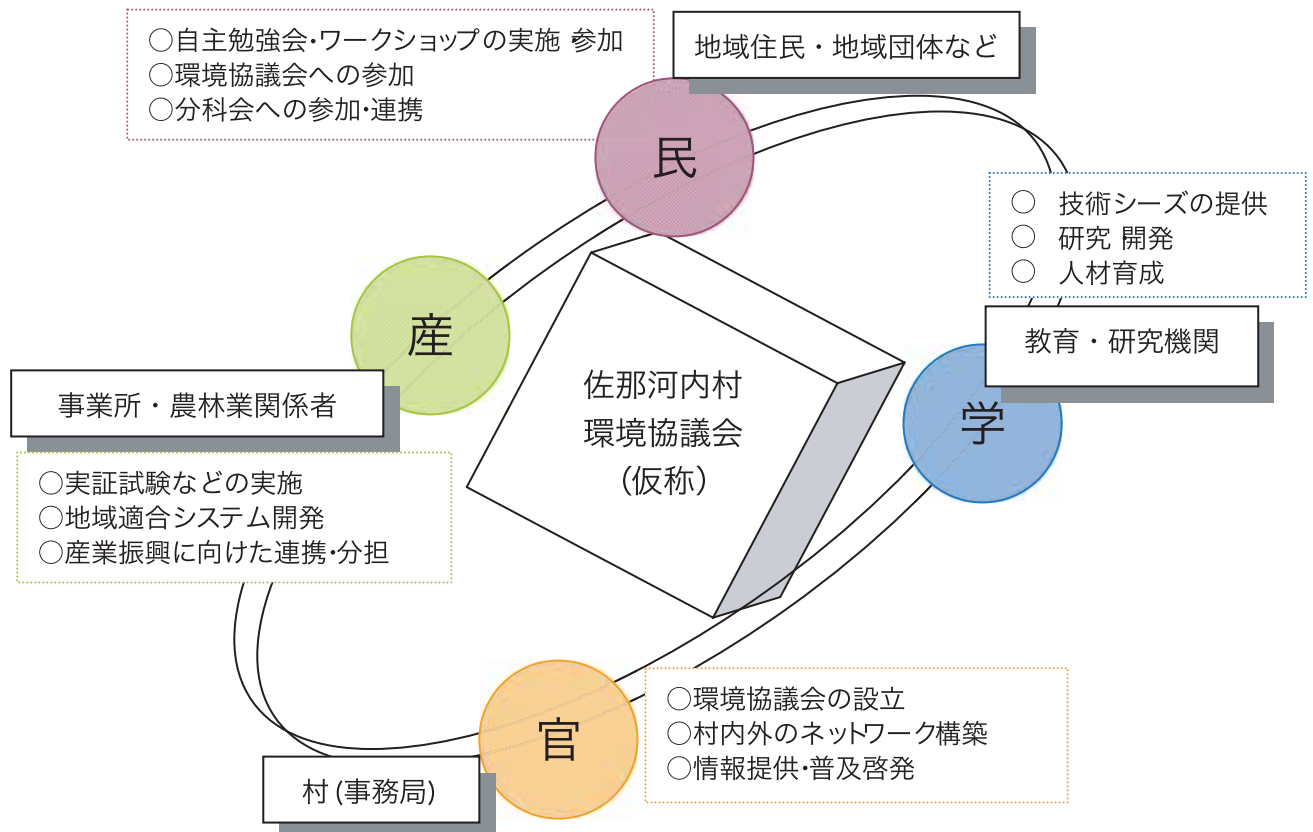




ビジョンの実現に向けて

本ビジョンの実現に向け、村、住民、事業者がそれぞれの立場で役割を分担します。

ビジョンの推進には、村はもとより、住民、事業所、「生活グループ」、「しゃくなげ市推進協議会」、「佐那河内村老人クラブ連合会」のボランティア活動グループ及び地元関係団体などの積極的参加と協力が不可欠です。地域が一体となって取り組むことが重要です。



《住民・事業者など・村の役割》

住民



- I未来 - 環境に関心を持つ
- I未来 - の無駄使いをしない
- 省I未来 - の実践
- 新I未来 - 省I未来 - に関する
- 住民活動などへの参加
- 新I未来 - の積極的な利用

事業者など



- 企業活動における新I未来 -
- 導入、省I未来 - の推進
- 村の施策や村民活動への参
- 加と協力
- 事業所内でのI未来 - ・環境
- 教育の実施

佐那河内村



- 新I未来 - の情報収集・発信
- 住民への意識啓発
- 導入推進体制づくり
- 率先的な新I未来 - 導入
- 国・県・NEDO・大学などの研
- 究機関との連携



一人ひとりの地球温暖化対策

～できることから、今すぐはじめましょう～



家計の節約になります



環境省が提案している「一人ひとりの地球温暖化対策」です。家庭で以下の取り組みを行うと、我が国の温室効果ガス排出量（1990 年）を 2.8%削減できるとしています。

■ 一人ひとりの地球温暖化対策（CO₂ 換算）

	取り組みの例	一世帯当たりの年間 二酸化炭素削減効果	一世帯当たりの年 間排出量に対する 削減割合 (%)	一世帯当たりの 年間節約効果
1	冷房の温度を1℃高く 暖房の 温度を1℃低く設定する	約 31kg/年	0.5%	約 2,000 円/年
2	週 2 日往復 8km の車の運転を ひかえる	約 185kg/年	3.1%	約 8,000 円/年
3	1 日 5 分間のアイドリングスト ップを行う	約 39kg/年	0.7%	約 2,000 円/年
4	待機電力を 90%削減する	約 87kg/年	1.5%	約 6,000 円/年
5	シャワーを 1 日 1 分家族全員 が減らす	約 65kg/年	1.1%	約 4,000 円/年
6	風呂の残り湯を洗濯に使いま わす	約 17kg/年	0.3%	約 5,000 円/年
7	ジャーの保温を止める	約 31kg/年	0.5%	約 2,000 円/年
8	家族が同じ部屋で団らんし 暖 房と照明の利用を 2 割減らす	約 240kg/年	4.1%	約 11,000 円/年
9	買い物袋を持ち歩き、省包装 の野菜などを選ぶ	約 58kg/年	1.0%	
10	テレビ番組を選び、1 日 1 時間 テレビ利用を減らす	約 13kg/年	0.2%	約 1,000 円/年
	合 計	約 766kg/年	13.0%	約 41,000 円/年

佐那河内村地域新エネルギービジョン

概要版

発 行：平成 18 年 2 月

企画・編集：佐那河内村総務企画課

発 行 者：佐那河内村役場

〒771-4195 徳島県名東郡佐那河内村下字中辺 71 番地 1

TEL：088-679-2111 FAX：088-679-2125

ホームページアドレス <http://www.vill.sanagochi.lg.jp>

代表メールアドレス info@vill.sanagochi.lg.jp